



「生徒会活動」の効果

学校では、「生活のきまり」として、学校での過ごし方・持ち物・服装・部活動への参加方法・頭髪・登下校の仕方など最低限のルールを定めています。しかし、それらを守っているから、望ましい集団、言い換えるなら「居心地のいい集団」が形成されるとは限りません。

集団に起こりがちなことですが、少数の人たちだけで支配されている集団では、一部の人たちの一見合理的に思える強い意見によって意思決定がされてしまい、大部分の人たちは自分の意思表示の機会がないまま集団による活動が進められていきます。逆に、なれ合いの集団では、公正・公平な意見を言って摩擦が生じてしまうことを避けるために、不条理な事象が起きても、それを放置したまま集団による活動が進められていきます。このような特性をもった学級・学年・学校集団は、本校でも、いっどこで形成されてもおかしくありませんし、実際に都内の小学校高学年や中学校でよく見られるものです。

そこで、学校教育には「生徒会活動」というものがあり、いずれの学校でも行われていますが、大切なことは、「生徒会活動」にどれだけ力を注いでいるかなのです。

「生徒会活動」とは、全校の子どもたちで組織する生徒会において、学校における自分たちの生活の充実・発展や学校生活の改善・向上、あるいは地域貢献を目指すために、子どもの立場から自発的・自治的に行われる活動のことです。もちろん、教員による管理や助言はあります。しかし、あくまでも子どもたちの自発的な発意により行われていくことが重要であるとともに、民主的な手続きを通して、集団の目指すべき目標や集団規範を設定して、互いに役割分担をしたり補ったりしながら、いわゆる協力し合って、望ましい人間関係を形成していくところに意義があるのです。

本校の各専門委員会では、現在「スローガン」や「活動内容」を検討しています。その中には、途絶えてしまった生徒会行事を再開するためであったり、昨年度の問題点を改善するためであったり、三中の魅力を発信するためであったりなど、前向きな討議が大いになされています。そして、これらが、5月11日(水)の生徒総会で承認されることにより、子どもたち全員の合意のもとに行われる活動となるのです。

このような自治組織では、冒頭で紹介した、「起こりがちな集団」は形成されにくくなるとともに、個人の身勝手な行動をしにくくなったり、人の心を傷つける言動をしにくくなったりします。さらに、公正なふるまいや正義が正当に評価されるため、「あいつ、かっこつけて」と指摘されることもなく、「居心地のいい集団」になっていくのです。

本校の子どもたちは、生徒会活動などを通して、先輩からそのような集団作りについて学んできており、1つ学年が上がったら、自治的活動により一層主体的・自発的に参加しようと思うようになり、そのように参加することが自己肯定感を高めることにもつながっています。

以下の文章は、本校の学校経営方針の「学校経営目標と方向性」からの抜粋で、次ページ冒頭は、本校の生徒総会の議案書からの抜粋です。

経営方針から抜粋

「社会を構成する一員」としての自覚をもたせるため、学級・学年・学校等の各組織の中で生徒主体の積極的な自治活動を通して社会的自立を促す。

議案書からの抜粋

◇生徒総会とは◇

生徒総会は、全校生徒が一堂に集まり論議することで、自分たち一人ひとりが学校をつくっている一員であると自覚していく場であります。

それは全校生徒でつくる自治の場であり、生徒総会の目的も自治組織としての生徒会をどう作っていくかということになります。

また、全校生徒による論議を通しての、合意形成の場となります。

以下が、前期の生徒会の中核となる、子どもたちです。

本部役員	会 長	間中 新太(3B)	
	副会長	森 陽生(3A)	渡辺 彩恵(2E)
	書 記	加島 佑果(3D)	古谷 華蓮(2A)
	庶 務	寺澤 拓海(3B)	五十嵐 菜々花(2A)

	学級委員会	生活委員会	保健委員会	図書委員会	放送委員会	美化委員会
1-A	湯浅 梨央	矢嶋 優亜	辻 里紗子	片山 舞桜	渡辺 麻由	桑原 希
	小林 佑光	荒巻 大和	久保 俊太	△平 優人	山田 舜介	越前谷大希
1-B	河上 莉子	平塚 美羽	下野 紗和	永岡 美奈	佐々木友花	鈴木 希果
	矢合 潤成	南 澤準	宮木 皓大	早川 涼太	中尾 太音	今福 康介
1-C	△山口玲菜	△長谷川綺香	△今井希美	高木菜摘実	△石井美月姫	渡辺 那由
	丸谷 周	佐藤 秀亮	時松 煌英	鄭 熙才	大越 響心	風間 琉聖
1-D	鈴木 優実	川村緋未佳	二上 結愛	三森 心渚	高橋 まりな	△伊藤舞帆
	澁谷厚ノ輔	片倉 湊智	瀬木 勇斗	植松 郁喜	高橋 海翔	水上 裕登
1-E	二藤部陽織	西原 悠莉	安田 ゆい	寺岡 くるみ	酒井 希美	赤坂 汐梨
	白石 橙哉	佐野 栄太	鈴木 蒼	渡邊 一生	松月 莉仁	山根 琉獅
2-A	伊藤紗英佳	坂戸 佑衣	木村 美咲	川崎 結衣	田邊 結月	△保科菜月
	江森 颯	○飯島 翼	小杉 律	西久保冬馬	大杉 司	原田 匠実
2-B	山下 莉菜	中田 瑠那	島田 紗羽	内田 はな	安部 凜咲	○井上日葵
	武藤 琉征	鈴木 紳一	小川 優真	飯島良偉斗	上岡 爽良	渡邊 奏志
2-C	鈴木 七海	田村 寧々	○塚田樹里	香取 優羽	○原田向日葵	パログン ハル
	山生 悠善	赤堀 慧侍	小久保凱登	戸張 迅	大岩 勇翔	浅野 晃志
2-D	△中條珠妃	清水 葵	△本郷結菜	○清野まいあ	加藤 吏乃	小嶋 凜香
	清原 直哉	△梅村亮介	渡部 祐翼	石黒琥太郎	高橋 諒多	矢嶋 凌虎
2-E	○武政 翠	鈴木万由華	齋藤 花奏	△佐伯日花莉	△大矢千央	郡 未空
	末永 照	野口 寛貴	遠山 歩空	福岡 優太	染井 智幸	土屋旬之輔
3-A	阿部 心深	飯塚 葵	北澤 乃亜	鎌田 有倫	朝日 花怜	○松本小春
	新井 大翔	飯島 駿	日向野航太	楯列 啓佑	石山 宏紀	◎櫻井将成
3-B	張 睿洵	◎鈴木莉椰	武政 美結	戸邊 綾香	笹平 千晴	大森 心晴
	佐藤 光希	矢嶋 一稀	小林 慧悟	鈴木 凰心	近藤 陽	林 海里
3-C	田尻 夏葵	金子 陽姫	林 優凜	井上 里菜	◎清水百音	松野ほのみ
	○山田 陽	○三國敬吾	◎飯塚悠貴	江藤 諒	松本 錦昊	生井沢琉偉
3-D	◎菊澤真結	渡部 華乃	○橋本琴音	○高羽桃葉	森田 葵生	山下 千鶴
	本間 登大	須藤 帆道	松谷 悠生	◎鴨崎悠太郎	○木谷剛尚	佐藤 理人
3-三	大貫 歩佳					

◎:委員長 ○:副委員長 △:書記

宿泊行事前のスクリーニング検査の実施

昨年度、中学校では移動教室が中止になりましたが小学校では1泊2日で実施し、出発前日に抗原検査キットによるスクリーニング検査を自宅で実施し、陰性反応であることを確認したうえで参加していました。残念ながら、陽性反応となってしまった場合は参加を見合わせていただくこととしていました。

今年度、4月12日開催の定例校園長会で教育委員会事務局からの報告・連絡事項として、「今年度、移動教室・修学旅行などの宿泊行事でスクリーニング検査を実施する」との説明がありました。本校では、以下のとおり1学期にすべての学年・三組で宿泊行事を予定しています。

期間	宿泊行事
5月18日(水)～20日(金)	3年修学旅行
6月1日(水)～3日(金)	2年下田移動教室
6月22日(水)～24日(金)	三組清里移動教室(特別支援学級合同行事)
7月4日(月)～6日(水)	1年清里移動教室

中学校1年生のお子さんのご家庭では、すでに昨年度経験済みだと思いますが、抗原検査キットによる検査では正しく実施しないと、陽性でも陰性でもない表示になってしまう場合があります。つきましては、まず検査の仕方が記載された説明書を熟読したうえで、細菌等が混入しないように清潔な場所や手で実施していただくようお願いいたします。

そして、万が一、陽性反応だった場合は、宿泊行事への参加を見合わせていただき、医療機関を受診していただくようお願いいたします。なお、陽性反応となったお子さんがいたことだけをもって中止にするのではなく、原則として同一学級の子どもたちは、陰性反応であれば参加してよいと教育委員会事務局からの説明もありましたので、申し添えます。

抗原検査キットは、それぞれの宿泊行事前にお子さんを通して配布いたします。

春季大会が始まっています

すでに中体連では春季大会を開催しています。

本校の運動部も参加しておりますが、3年生にとっては参加する大会もあとわずかとなってきました。本大会が終わると総合体育大会(夏季大会)のみとなります。

一昨年度、昨年度と冬に実施していた3年生の面接練習では「中学校生活で最も残念だったこと、悲しかったこと、つらかったことは何ですか」という質問に「最後の大会で全力を出し切れなかったことです」「部活動の大会で納得のいく成績を出せなかったことです」と回答する子どもがいました。裏を返すと、それらの子どもたちは中学校生活の中で最も力を入れていたことが部活動だったとも言えます。

今年度の3年生の中にも、部活動で悔いの残らない結果にしたいと思っている子どもたちが一定数いることと思います。ただし、全国大会で優勝しない限り、必ずどこかの時点で負けて終わることになります。悔いが残らないようにするためには、やるべきことをやり切ったかどうかが大きく影響しますが、それでも負けて終わった瞬間は、一生懸命やってきたからこそ残念な思いが強くなることと思います。それも、中学校生活の重要な体験です。そこで保護者の皆様が、会場の規定に基づいてお子さんの一つ一つの節目をご覧いただき、お子さんの思いに寄り添うことにより、お子さんが次のステップに踏み出せるようにしてあげていただくと幸いです。

大型連休とコロナ感染

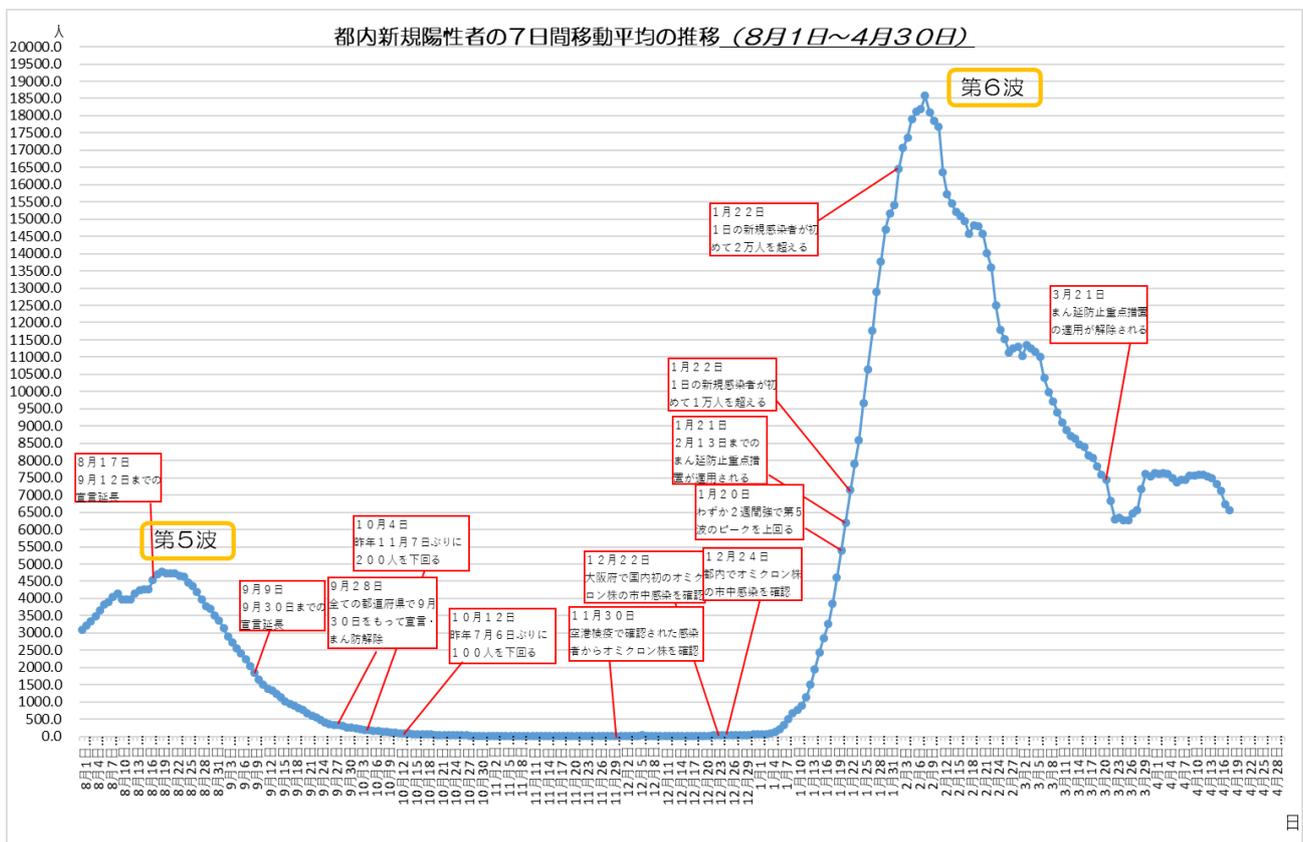
まもなく、大型連休に入ります。

それぞれのご家庭で、様々な計画を立てていらっしゃると思いますが、ぜひとも感染防止策をとったうえでの行動に心がけていただくとともに、できましたら感染リスクの高い場や時間帯は避けていただけたらと思っています。

今年度になり、新型コロナウイルス感染症に関わって出席停止となった子どもたちがいますが、そのうちの半数以上がご家族のいずれかが感染したことによる濃厚接触者としての出席停止です。区内教職員の中にも家族の感染もしくは濃厚接触者の指定により自宅における要観察期間となった者がおりましたが、いつ・だれが・どこで感染するか分からない新型コロナウイルス、そして感染者が確認された場合は同居している者全員が濃厚接触者になる可能性が非常に高いことから、家族ぐるみで感染防止策をとることが必要です。

報道では、「第7波」という用語を聞くことがありますが、どうも腑に落ちません。

「第7波」ということは「第6波」が終わったということですが、下の東京都における新規感染者の7日間移動平均のグラフを見る限り、あれほど緊急事態宣言で、しかも急激な感染者の増加で大騒ぎした昨年夏の第5波のピークよりも高い時点でまん延防止等重点措置の適用が解除され、その後下がり切れずに、今でも第5波よりも高い数値で推移しています。^{※1}



※1:分析による記述は18日時点です。最新のグラフは、本校HPの「東京都の感染者数に関するグラフ」でご確認ください。

もちろん、デルタ株、オミクロン株及びその派生型などの違いがあるため新規感染者数だけで比較することはできません。しかし、学校保健安全法施行規則では、皆様ご存じのインフルエンザが第2種に分類されているのに対し、新型コロナウイルスは第1種として「伝染力、重症度から危険性が極めて高い感染症」に分類されており、感染確認と同時に周囲の子どもたちや教育活動全体に大きな影響を与えることとなります。特に3年生は、5月18日からの修学旅行を控えていることから、直前の中止・延期、そしてキャンセル料金の発生となってしまった場合に、陽性者となってしまったご本人が最もつらい思いをすることになってしまいますので、教職員も含めて皆さんで注意していきたいものです。